

DF医療懇話会--2022年度--

☆世話役

・佐藤和恵 ・赤堀智行 ・鶴岡正吉

☆2021年度計画

- 〈開催〉 年間3回（4月、6月、12月）
- 〈会場〉 技術部会定例会
- 〈テーマ〉 会員に役立つ最新の医療講座
- 〈講師〉 大学及び基幹病院の専門的立場の医師
- 〈謝礼〉 20,000円程度
- 〈参加費〉 1,000円
- 〈対象〉 DF技術部会メンバー

医療講演テーマ

(2015年~2020年)

救急と延命処置 昭和大学病院 古川先生	救急医療と脳血管障害 昭和大学病院 土肥先生	コロナ感染下における 病院医療体制の現状 昭和大学病院 八木先生
消化器疾患と内視鏡 ---消化器癌--- 昭和大学病院 山村先生	最新の癌治療 ---免疫療法--- 昭和大学病院 吉村先生	癌を知る ---乳がん--- 慶応大学病院 池田先生
地域包括ケア 渕上虎平氏	共生社会 渕上虎平氏	介護の現状と問題 渕上虎平氏
痛み---不思議な感覚 DF鶴岡正吉	老化とは DF佐藤和恵	高齢者の健康・経済 DF佐藤和恵
加齢と眼科 昭和大学病院 岩渕先生	高齢化と歯科医療 昭和大学病院 七田先生	整形外科疾患 昭和大学病院 矢倉先生

2021年度開催

開催	テーマ	講師	場所
4月 13日	「カカオハスクの抗酸化作用」	ディレクトフォース 佐藤和恵	ZOOM
6月 16日	「排尿障害の原因と治療」	ディレクトフォース 鶴岡正吉	ZOOM併用
12月 14日	「コロナ感染下における病院医療体制の現状と課題」	昭和大学病院 救命救急センター 八木正晴准教授	ZOOM併用

2022年度開催予定

開催月	演題	演者	備考
4/12			技術部会
6/15	新型コロナウイルス 感染症の検査と治療	昭和大学病院 木内祐二教授	薬理学
12/13-[A]	癌治療の急速な進歩と 我が国の現状	昭和大学病院 吉村清教授	臨床免疫腫瘍
12/13-[B]	高齢者における眼疾患 の特徴と治療	昭和大学病院 岩渕成祐教授	眼科学

眼科疾患

角膜、虹彩、瞳孔、視神経、水晶体、網膜、黄斑、脈絡膜、結膜、硝子体など、眼の構成要素のいずれかに影響を及ぼす疾患。

[症状]：目のかすみ、視野狭窄、目の痛み、乾燥、充血、過剰な涙、灼熱感、腫れ、眼瞼炎、まぶたの垂れ下がり

[原因]：感染症、アレルギー、炎症、栄養不足、先天性欠損、水晶体、腺、その他機能障害

[治療法]：薬物療法、セルフケア、手術、眼鏡やコンタクトレンズ、全身の基礎疾患の治療

白内障

- * 水晶体の濁りを引き起こし、目に影響する状態。
 - ・専門家により検査と治療を要す
 - ・数ヶ月または数年続く可能性があります
 - ・60歳以上に、女性に多く見られます

<発症原因>

加齢

家族歴

糖尿病

過度の日光浴

ステロイド薬の長期使用

喫煙

肥満

高血圧

アルコール依存症

放射線

緑内障

- * 眼圧の上昇の有無にかかわらず、脳に情報を伝達する眼の視神経が損傷する疾患です。治療しないと、徐々に視力が低下
 - ・処置により症状の管理が可能ですが治癒は不明
 - ・数年または生涯にわたって続く可能性
 - ・50歳以上に共通(高い家族歴)

<原因>

眼圧は、房水から余分な液体が排出されることで一定に保たれる。房水の流れが滞ることで眼圧が上昇すると、緑内障の原因となる

- ・家族歴
- ・全身性低血圧、真性糖尿病など
- ・眼への火傷、化学的損傷、眼への外傷
- ・虹彩の異常血管を引き起こす網膜の疾患

日本の失明原因疾患

緑内障 (29%)

網膜色素変性症 (14%)

糖尿病網膜症 (13%)

加齢黄斑変性 (8%)

脈絡網膜萎縮 (4%)